

国語の学習について　くその一「辞書の使い方をマスターしよう」く

＊国語総合Aでは現代文の文章を取り上げて学習します。

1 国語辞典

国語辞典は現代語の漢字・意味を調べるための辞書です。主に国語総合Aの授業で使う辞書です。当たり前のことですが、現代の文章とはこれから（高校を卒業した後も）ずっと付き合っていくことになりますので、家に自分に合った国語辞典がない人はぜひ一冊用意して下さい。

ひき方はすでにわかっているかと思いますが、自分の語彙（読みは「ごい」、意味は「ある人が用いる語の全体」）を増やしていくことは、現代文の読解力・表現力を上げていくために大切なことです。今回の課題になっている「世界は常に更新されている」の意味調べプリントにある言葉の意味や、プリントになくても自分がわかりにくいと思った言葉について、どんどん辞書をひいて調べてみましょう。回数を重ねて素早く辞書をひけるようになることは、国語や英語では効率的な学習の第一歩です。面倒がらずに頑張りましょう。

＊国語総合Bでは古典（近代以前の日本・中国の文章）を取り上げて学習します。

古文Ⅱ日本の古典、漢文Ⅱ中国の古典（日本の古典の文法に合わせて読みます。）

2 古語辞典

入学前に全員同じ辞書（電子辞書にも同じ古語辞典が入っています。）を購入していますので、国語総合Bの授業には必ず用意して来て下さい。

五十音順になっていることは国語辞典と同じですが、かなづかいが歴史的かなづかいになっていることに注意しなくてはいけません。

例えば、

今回の課題になっている「児のそら寝」の現代語訳（自分でできるところまででよい）に取り組む時に、教科書三二二ページの一行目「いらへ」という言葉の意味を調べるときには、

①「いらへ」は動詞なので、基本形の「いらふ」にする。（この言葉を発音するときには「いらう」と発音する。）

②辞書で「いらふ」で意味を調べる。

意味は「答える。返答する。」

同じページの六行目「笑ふ」なども普段の言葉Ⅱ現代語では「わらう」と発音していますが、古語辞典を引くときには「笑ふ」でひかなくてはなりません。

3

漢和辞典

主に漢文の時間に使います。漢字の意味を知り、漢字力をつけることは現代文の読解にもとても役に立つことです。国語辞典と比べて少しひくのに手間がかかりますが、ぜひ使ってみて下さい。

例えば、

教科書三二二ページに「転禍為福」という文がありますが、この中の「転」という字を漢和辞典で調べてみます。

①漢和辞典はA部首の画数、B総画数、C音訓の三つの方法で調べることができます。今、皆さんはこの漢字の音読みが「テン」であると知っていますから、C音訓で調べると「テン」と読む漢字がたくさん出てきますので、そこからこの漢字が載っているページを確認して、そのページを開いて下さい。

②そこで知ることができることは、

- ・総画数 十八画
- ・部首 車
- ・読み 音読み「テン」、訓読み「ころ（がる）、ころ（げる）、ころ（がす）、ころ（ぶ）」
- ・意味 いくつか書いてありますが、ここで当てはまるのは、「②うつる。ころがるようにつぎつぎとうつっていく。まわり舞台のようみ次々とかわる。」という意味です。
- ・その他 この字はもともと「轉」という字ですが、「專」の部分には「まるく回転する」という意味が含まれているので、「轉」Ⅱ「転」は車のように回転すること。」

というようなことや、

難読語「転寝Ⅱうたたね」

というようなことも載っていておもしろいと思います。

＊言葉や漢字の意味は使う辞書（同じ国語辞典でも）によって変わってきますので、古文の授業以外では少し違うこともあります。自分の使っている辞書でそれぞれ確認しましょう。ただ、文脈によってどの意味を使うのか、は授業で確認しましょう。